

協議（１）

デマンドタクシー市外便実証運行の中間評価と令和４年度の運行について

＜協議事項＞

デマンドタクシーの市外便については、令和４年度も実証運行を継続する。

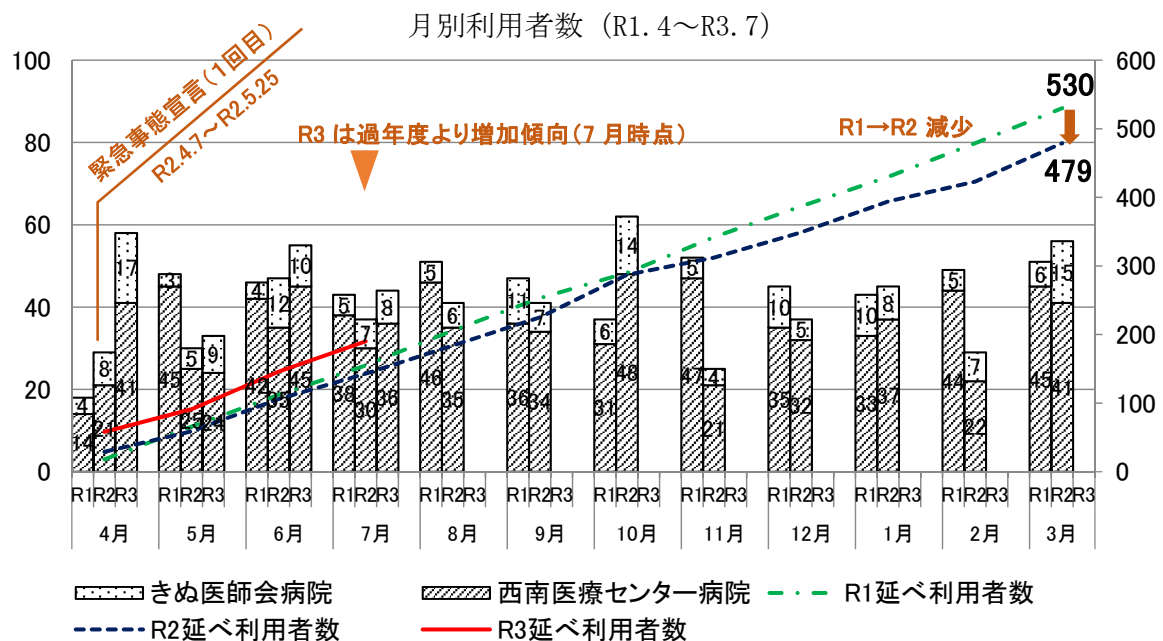
１．デマンドタクシー市外便についての経緯

- ・平成２４年４月から、デマンドタクシーの運行を開始。（運行区域は市内に限定）
- ・その後、デマンドタクシーを市外の医療機関へも運行してほしいという市民要望の高まりを受け、平成３１年４月からデマンドタクシー市外便の実証運行を開始。
※市外便運行先：きぬ医師会病院（常総市）、茨城西南医療センター病院（境町）
- ・次年度の運行については、本会議において、年度途中で中間評価を行い、協議することとしている。

※実証運行後の事業継続・中止（見直し）ライン ⇒ １便あたり平均利用者２人以上

	H24	H25	H26～H30	R1	R2	R3	R4以降
市内便	実証運行		本格運行				
市外便				実証運行			

２．実証運行における市外便の利用状況について



<市外便実績一覧>

		R1	R2	R3（～7月）
利用者数	（人）	530	479	190
運行した便数	（便）	3,808	3,888	1,296
稼働した便数	（便）	437	365	164
稼働した便数の割合	（％）	11.5	9.4	12.7
1便あたりの 平均利用者数	（人）	1.2	1.3	1.2

<運行先別実績>

		H31		R2		R3（～7月）	
		西南	きぬ	西南	きぬ	西南	きぬ
利用者数	（人）	456	74	381	98	146	44
運行した日数	（日）	238	238	243	243	81	81
稼働した日数	（日）	152	43	121	52	52	23
稼働した日数の割合	（％）	63.9	18.1	49.8	21.4	64.2	28.4
運行した便数	（日）	1,904	1,904	1,944	1,944	648	648
稼働した便数	（日）	368	69	275	95	123	41
稼働した便数の割合	（％）	19.3	3.6	14.1	4.9	19.0	6.3
1便あたりの 平均利用者数	（人）	1.2	1.1	1.4	1.0	1.2	1.1

3. 中間評価

- R2は、コロナ禍の影響もあり、R1より利用者が約10%減少している。
- R3は、回復傾向にあり、7月時点ではR1より利用者が約23%増加している。
- 運行先別に比較すると、特に、きぬ医師会病院の利用者が少ない。
- 運行便数（運行日数）に対する稼働率が低く、きぬ医師会病院については、全く稼働していない日が7～8割程ある。
- 過年度及びR3.7時点では、1便あたりの平均利用者数が「事業継続・中止（見直し）ライン」に達していない。

4. 実証運行を継続する理由

- 「事業継続・中止（見直し）ライン」は、コロナ禍を想定したものではなく、今回の実績による運行廃止等の判断はし難いため。
- 今後、高齢化により市内の高齢人口（65 歳以上）は増加する推計であることや、運転免許返納の流れからも、デマンドタクシーの利用者は増加することが考えられるため。（現に、市外便については、R3.7 時点で過年度より増加している。）
- 利用登録者が市内人口の 5%未満（R3.3 時点）であり、デマンドタクシーを「知らない」もしくは「知っているが登録していない」という方がまだまだいる現状を鑑みると、潜在的な利用者をさらに掘り起こしていく余地があると考えするため。
（参考）R1 に実施した公共交通全般に関するアンケート調査結果

デマンドタクシーを「知らない」：38%

デマンドタクシーを「知っているが登録していない」：45%

5. 今後の方向性

利用者の利便性向上及び利用者数の増加を図るため、利用者等へのアンケート調査を実施し、運行内容の見直しや利用促進策を検討する。

■アンケート調査概要（案）

調査対象：デマンドタクシー利用者登録者

調査目的：需要の多い移動時間帯の把握、通院者の移動手段の把握、潜在的利用者の把握、その他運行内容に関する改善点の把握

■運行内容の見直しとして考えられること

- 需要に応じた運行時間の変更
- 予約が無い便（車）の有効活用
- 乗合予約による料金割引の導入
- 予約・配車システムの導入（当日予約を可能にする）
- 車両規模の縮小

■利用促進策として考えられること

- 新たなチラシ・ポスターの配布・掲示
- 市の SNS（Facebook、LINE）への投稿
- 保険福祉事業との連携強化（敬老会や検診事業での宣伝等）
- 公共交通利用券交付時の宣伝の徹底
- 無料乗車体験の実施